平成３０年度　事業報告書

平成３０年は、６月１８日に発生した大阪府北部地震を始め、９月４日には強い勢力のまま上陸した台風２１号により、次々と災害にみまわれる年でした。まだまだ、災害による傷痕が残る現状にありますが、被災された方々には心からお見舞いを申し上げますとともに、高槻市観光協会として皆様とともに力を合わせて、災害に負けない「活気」と「賑わい」を創り上げていくことにも貢献していかなければなりません。

さて、高槻市観光協会は、社団法人として高槻市の人口が１５万人を擁する都市になった昭和４３年１月９日に産声を上げました。協会発足当時は、市の人口が１５万人の田園都市でしたが、今や高槻市は、JR 高槻駅に特急「はるか」や、特急「サンダーバード」の一部停車が実現し、新名神高速道路の開通に伴い高槻ジャンクション、インターチェンジを擁する文字通り北摂の「中核市」として発展を遂げてきました。

高槻市観光協会は、この高槻市制７５年の発展の歴史に合わすように歩みをともにし、平成３０年の今年に設立５０周年という大きな節目の年を迎えました。協会設立５０周年のアニバーサリーイアーとして、１０月には記念式典、記念コンサート、記念祝賀会を実施したのをはじめ、４月には摂津峡さくら祭りでの「大武者行列」、１１月にはたかつきアート博覧会での「キャンドルナイト」や「デジタルマッピング」、古墳フェス come come*はにコットのイベントに併せて「古墳 de 熱気球搭乗体験」など数々の記念イベントを実施いたしました。これらの５０周年記念イベントについては、高槻市観光協会の今後の５０年を見据えて、多くの市内外の皆様方に、改めて「公益社団法人 高槻市観光協会」の存在を印象付ける、アピール度の高いイベントを心掛けて実施してまいりました。

さらに、設立５０周年に時期を合わせて、これまでの観光協会のイメージの刷新を図るため、阪急京都線の阪急高槻市駅構内への高槻市観光情報コーナーの整備に併せて、同コーナーの一画に観光協会の事務所を構えるとともに、たかつき観光大使を委嘱したのを始め、協会のロゴマークの一新、ホームページの刷新など、時代の変化に即応した事業活動の展開が可能となるよう体制をも順次整備を進めてきたところです。

引き続き、高槻市の新たな観光スタイルの確立や市内の観光気運の醸成を図ることを通じて、地域経済に波及効果を与え、地域の活性化と市内産業の発展に貢献できる組織として、期待される「観光協会」となれるよう努力してまいります。

なお、本年度の事業実施内容の詳細については、２. 事業報告のとおりであり、資料１に示す事業体系図に基づき観光事業を実施しました。

１．事項目別状況

（１）会議

（ア）平成３０年度
通常総会　平成３０年５月３０日　於）高槻現代劇場会議室

（イ）理事会
第１回　　平成３０年　５月１１日　於）ミング阪急高槻会議室
第２回　　平成３０年　９月１１日　於）ミング阪急高槻会議室
第３回　　平成３１年　２月　６日　於）ミング阪急高槻会議室
第４回　　平成３１年　３月２７日　於）ミング阪急高槻会議室

（ウ）役員会（代表理事・業務執行理事）
第１回　　平成３０年　５月１０日　於）ミング阪急高槻会議室
第２回　　平成３０年　９月　６日　於）旧高槻市観光協会会議室

（２）監査　　令和元年　５月　９日　於）ミング阪急高槻内会議室

（３）組織（平成３１年３月３１日現在）

ア．正会員　　１６９名
イ．顧問　　１名
ウ．役員　理事１９名　監事２名

２．事　業　報　告

（１）観光企画事業

Ａ．観光協会主催事業

①高槻市観光協会設立５０周年記念事業：平成３０年摂津峡さくら祭り

平成３０年の摂津峡さくら祭りは高槻市観光協会設立５０周年記念事業として、３月３１日（土）～４月１５日（日）にわたり実施しました。桜広場等にボンボリや提灯の掲飾などとともに、イベント日を７、８日の２日間とし、満開を過ぎたさくらの下で、食の文化祭出店２０店舗の協力を得て、摂津峡さくら祭りを実施しました。期間中の来園者数は、１７，４３４人でした。設立５０周年記念事業として、ライトアップやチャンバラ合戦に加えて、三好山の芥川山城跡にむけて三好長慶大武者行列を行いました。

平成３０年 摂津峡さくら祭り風景

②「高槻市観光協会設立５０周年記念事業：「悠久の歴史を辿る非公開の仏像拝観」と「紅葉の神峰山寺、写経と座禅の集い」

神峯山寺の協力により、高槻市観光協会設立５０周年記念事業として「悠久の歴史を辿る非公開の仏像拝観」を実施し、祈願法要を行った後、重要文化財を含む特別拝観を行い、１５名の参加がありました。また、「オープンたかつき」事業の一環として、紅葉の季節に併せて神峯山寺の協力を得て、近藤住職の講話と座禅・写経の会を行い、高槻市にある１，３００年以上の歴史を有する神峰山寺の歴史文化を紹介しました。本年は１１月１４日（水）に開催し、座禅会と写経会に３０名の参加がありました。

神峯山寺での特別拝観と写経風景

③伊勢寺で楽しむ十三夜観月会

「オープンたかつき」事業の一環として、高槻市内古曽部地区にある伊勢寺において、１０月２４日（水）午後６時から、５０名の参加をえて、十三夜観月会を開催しました。地元の食材を使った夕食のあと、十三夜の満月の下で、平安時代の歌人伊勢姫ゆかりの伊勢寺の松浦住職による講話と、井上真美さんの篠笛の演奏を聴きながら、秋のひと夜を過ごしました。

十三夜観月会風景

④富田地内町巡りと「壽酒造」「清鶴酒造」の酒蔵見学会

「オープンたかつき」事業の一環として、新酒が仕込まれるこの時期に併せて実施し、歴史のある高槻富田の地場産業（酒造）の蔵元の紹介を行いました。本年度は、三輪神社に集合の上、ボランティアガイドの紹介により本照寺、清蓮寺などを巡り、富田寺内町の魅力を紹介しました。壽酒造（株）・清鶴酒造（株）の協力により、２月１４日（木）の午前・午後の２回に分けて開催し、午前・午後それぞれ２０名の参加がありました。

酒蔵の見学風景

⑤第３８回たかつき芸能フェスティバルの開催

日本の伝統文化である日本舞踊の継承と発展を目的に、３月１７日（日）高槻現代劇場大ホールにおいて、１２会派５７舞台、９７名の参加により華やかな舞台が繰り広げられ、いち早く高槻市に春の到来を告げました。

芸能フェスティバル風景

⑥　第１５回たかつき和太鼓フェスティバルの開催

３月３日（日）午後２時００分から高槻現代劇場大ホールにおいて、学生たちが主催する「たかつき和太鼓フェスティバル実行委員会」により開催されました。市内の和太鼓グループや高校・大学の和太鼓クラブ９チームが集まり、高槻市観光協会は、これらの活動を応援し、「太鼓のまち高槻」を押し進めるために共催参加しました。

和太鼓フェスティバル演奏風景

⑦　高槻市観光協会設立５０周年記念事業の実施

高槻市観光協会は、社団法人として昭和４３年１月９日に産声を上げ、高槻市の発展の歴史に併せるように、５０年の歩みを刻んできました。５０周年を迎えて、１０月１３日に「知るほど　なるほど」をメインテーマに、「５０周年記念式典」、「～みなさまに支えられて５０周年～カジュアル　クラシックコンサート」、「記念祝賀会」を実施しました。

設立５０周年記念式典・感謝状贈呈式風景

５０周年記念「カジュアル クラシックコンサート」・設立５０周年記念祝賀会風景

⑧高槻市観光協会設立５０周年記念事業：「古墳で熱気球体験」と「アート博覧会と共催でデジタルマッピングとキャンドルナイト」の実施

高槻市観光協会設立５０周年記念事業として、１１月１８日（日）に「第８回 come come*はにコット」の開催に併せて、「古墳で熱気球体験」を今城塚古墳公園内濠南側公園において実施し、１７０名の搭乗者がありました。

また、11 月 17 日（土）には、たかつきアート博覧会との共催により、関西大学ミューズキャンパス横の弁天公園において、関西大学の学生たちの協力により、デジタルマッピングとキャンドルナイトに取組み、多くの来場者で賑わいました。

古墳で熱気球体験とキャンドルナイト風景

⑨第６８期王将戦七番勝負第二局の前夜祭と大盤解説会の開催

将棋の８大タイトル戦の一つである王将戦の第６８期王将戦七番勝負第二局が、平成３１年１月２６日（土）、２７日（日）の両日にわたり、市内摂津峡「山水館」で開催されました。王将戦第二局の前日には、高槻現代劇場文化ホール３階レセプションルームで前夜祭が、王将戦当日については同場所において大盤解説会が開催され、２８８名の市内外からの来場者がありました。高槻市観光協会は、前夜祭、大盤解説会を高槻市から受託し運営しました。

第 68 期王将戦七番勝負第二局前夜祭・大盤解説会風景

B．観光協働事業

①　「オープンたかつき」の共催

平成２８年度からスタートした「オープンたかつき」は、市内外の人たちが、高槻の多様な魅力に触れ、観光することのできる、まち歩きや体験プログラム型のツアーを新たに展開しようと、高槻市、高槻商工会議所、高槻市観光協会で構成する「オープンたかつき運営会議」が主催し、事務局は高槻市観光協会において実施しています。

平成３０年度では、「オープンたかつき２０１８春」（４月～６月）については５１プログラムを、「オープンたかつき２０１８秋」（１０月～１２月）では６１プログラムを、「オープンたかつき２０１９新春」（１月～３月）は４１プログラムを年間通じて集中実施いたしました（一部プログラムは、既存事業のＰＲ）。

その結果、募集定員３，９７４人に対して参加者数は３，５４２人で、参加率としては約８９％でした。参加者属性をアンケートの集計結果からみると、性別では有料プログラムは女性６割、無料プログラムは男女比 3.5 対 6.5、年代は有料・無料プログラムとも約４９％が５０歳代以上で、職業別では約４４％が主婦で、会社員、自営業などと続きます。居住地別では、有料プログラムは６２．７％、無料プログラムは７１．１％

が市内ですが、「謎解きゲーム」の実施結果を加えると市外からが５６％となり、同ゲームの愛好者が市外から来られていることが分かります。

オープンたかつきプログラム実施風景

② 第４９回市民フェスタ高槻まつりへの参加

第４９回市民フェスタ高槻まつりは、６月１８日に発生した大阪府北部地震の影響が残る中、高槻まつり振興会の主催で８月４日（土）・５日（日）の２日間にわたり行われ、多くの参加者で賑わいました。高槻市観光協会は、芸能フェスティバル出演の各会派を中心に、４日の高槻音頭おどり連に１２４名が参加しました。

観光協会おどり連パレード

③ 天神まつりへの出店参加

天神まつりは、平成３１年２月２５日（月）、２６日（火）の２日間、ＪＲ高槻駅北ロータリーで午前１０時～午後９時頃の時間帯で行われました。「天神さん」の愛称で親しまれる上宮天満宮に由来するこの祭りは、天神まつり実行員会によって運営され、観光協会は、福井漁連小浜支所の「魚市」や若狭町特産品販売などの出展で参加しました。

天神まつり風景

④　第２７回こいのぼりフェスタ１０００への参加

こいのぼりフェスタ１０００推進協議会の主催で、４月２３日（月）～５月５日（土）の期間で、イベント開催日を４月２９日（土・祝）として、第２７回こいのぼりフェスタ１０００が芥川桜堤公園において開催されました。観光協会は、推進協議会のメンバーとして出店参加しました。

こいのぼりフェスタ 1000 風景

⑤　第２８回高槻シティハーフマラソンへの参加

平成３１年１月２０日（日）、高槻市陸上競技場をスタートに高槻市南部の淀川の沿道を走るコースで開催されました。今大会は、生憎の小雨の下での開催となり、６，４１７人の参加者（参加申込８，０３１人）があり、高槻市観光協会は高槻シティハーフマラソン実行委員会のメンバーとして係わり、大会当日のスタッフとして参加しました。

高槻シティハーフマラソンスタートの風景

⑥　第２０回高槻ジャズストリートへの参加

高槻ジャズストリート実行委員会が主催する高槻市の一大イベントで、２０回目の記念事業として５月３日（木･祝）４日（金・祝）５日（土・祝）の３日間に亘り、市内６３会場、８４７バンド、約４，０００人以上が出演し、市内外から多くの来客者で賑わいました。

観光協会は、ジャズストリートのオフィシャルサプライヤーとして、高槻観光を紹介するブースを出店し、市内観光のポスター掲示やチラシ等の配布を行いました。

高槻ジャズストリート風景

⑦　第１０回食の文化祭の開催

食の文化祭実行委員会が主催する事業で、１０月１３日（土）・１４日（日）の２日間にわたり高槻市立第１中学校グランド及び城跡公園一帯で、約６０店舗の出店により開催されましたが、高槻市観光協会は設立５０周年の記念事業と日程が重なり、ブース出店は出来ませんでした。

⑧　第２６回淀川三十石船舟唄全国大会への参加

１１月２３日（祝）開催の「淀川三十石船舟唄全国大会」に、同実行委員会の構成員として参加しました。淀川三十石船舟唄は大阪府・高槻市無形民俗文化財に登録されており、当日は近畿圏を中心に、ジュニアの部１１名も含めて全国から１９１名の出場者があり、日頃の鍛錬の成果が披露されました。

淀川三十石船舟唄全国大会風景・優勝者・ジュニアの部表彰式・大塚保存会

⑨「まるごと高槻」への参加

高槻市の魅力をより多くの人に知ってもらい、高槻市に来ていただこうと平成３０年９月１７日（月・祝）に JR 京都駅前において、９月２４日（月・祝）には大阪ステーションシティアトリウム広場で実施した高槻市観光ＰＲイベント「まるごと高槻」に、高槻市と高槻商工会議所とともに参加しました。今後とも、高槻市と高槻商工会議所と確りとした連携のもとに、高槻市観光のＰＲに努めてまいります。

JR 京都駅前及び大阪ステーションシティアトリウム広場「まるごと高槻」の風景

⑩「たかつき産業フェスタ」への参加

「たかつき産業フェスタ」は市内産業を市民に知っていただくためのイベントで、今年度は、平成３０年１２月２２日（土）、２３日（日）の両日にわたり開催されました。高槻市と高槻商工会議所が主催し、高槻市観光協会も後援団体として、高槻市とともにブースを設けて市内観光の紹介を行いました。また、１２月２２日（土）には、イングレスミッションデー高槻のイベントも同時開催され、市内外から多くの来場者で賑わいました。

「たかつき産業フェア」風景

⑪「たかつき土産」認定への支援と「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」の「地方創生賞」に「高槻トマトのまるごとキムチ」が受賞

昨年に続き、高槻商工会議所のプロジェクト「たかつき土産」について、高槻市観光協会として高槻市とともに後援し、９品目の追加選定に参加するとともに、協会ホームページ○○（マル・マル）ナビの特産品のサイトでＰＲに努めています。また、市内川添町で、韓国海苔巻き（キンパ）など韓国惣菜のテイクアウト店「のりまきのすけ」を開く太田也寸志（おおた　やすし）さんが商品生産するたかつき土産「高槻トマトのまるごとキムチ」が、「2018 年度 ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」の「モノ部門」で「地方創生賞」を受賞しました。

内閣府での地方創生賞受賞式風景と受賞したたかつき土産「高槻トマトのまるごとキムチ」

⑫　安満遺跡公園の第１次開園とオープニングイベントでの高槻市観光協会のブースを出展参加。

高槻市が整備を進めていた「安満遺跡公園」の第１次開園のオープンセレモニーが、去る３月２３日９時３０分から行われ、高槻市に新たな観光スポットが誕生いたしました。高槻市観光協会でもブース出店を行い、たかつき土産やはにたんグッズの販売を行いました。同公園内には、「高槻こども未来館」や「ボーネルンドプレイヴィル」、「レストラン（SUNDAYS BAKE ５６９）」などの施設もあり、全面開園後の公園の規模は甲子園５個分約

２２ヘクタールと言われており、２０２１年の全面開園が俟たれるところです。

安満遺跡公園第１次開園オープニングイベントとブース出店風景

Ｃ．その他の観光関連事業への協力

高槻市の観光を通じたまちづくりを推進するため、「高槻緑花推進連絡会」等へ構成団体として事業実施組織への参画や、「スクールジャズコンテスト」、「高槻酒塾」、「たかつき能楽に親しむ会」、「たかつきバル」などへの後援など観光関連事業への協力を行いました。

（２）広報活動・観光案内事業

①たかつき観光大使の活動

高槻市観光協会は、本年に設立５０年の節目の年を迎えることになり、さらなる観光プロモーションを効果的に推進するため、「たかつき観光大使」による様々な観光イベントなどへの参加により、観光事業のプロモーションの推進に努めています。

「王将戦」と「５０周年記念式典」でのたかつき観光大使の活動風景

② 高槻市観光協会公式サイト「マル・マルナビ」とオープンたかつき公式サイトの管理運営

前年度に一新した高槻市観光協会公式サイト「たかつき〇〇（マル・マル）ナビ」の管理運営を行い、タイムリーな「お知らせ」記事の提供とともに、「たかつき土産」の紹介やインバウンド対応にも資するため、「いましろ大王の杜」「高山右近」「摂津峡」の「おすすめスポット」のサイトの

英語化を図りました。さらに、本年度より「オープンたかつき」の公式サイトの管理運営を高槻市観光協会で行い、二つの観光情報サイトによって、高槻市内の観光情報検索サイトの充実を図りました。

③　各種観光情報の提供

高槻市の豊かな自然や歴史観光を紹介するため、市内観光地をコースで紹介する「高槻散策マップ」（市内全体１１種）や観光イラストマップや摂津峡公園ハイキングマップなど無料配布したほか、「高槻市ハイキングコースマップ」の有料販売（１部１５０円）などの販売を行いました。その他、「高槻市観光協会ニュース」（1回）を発行し、観光協会社員（会員）を始め観光案内所を通じて配布を行うとともに、日刊紙、ミニコミ紙、各種情報誌等への観光情報の提供を行いました。

④「はにたん」着ぐるみの貸出

高槻市観光協会では、イベントの盛り上げ役として人気のあるはにたんの着ぐるみを、地域振興活動および企業・個人事業者が催すイベント等のために貸出受付業務を行っています。平成３０年度においては、９２件の貸出を行いました。

⑤　高槻（観光・ハイキング）ボランティアガイド事業

観光ボランティアガイド事業については、オープンたかつきの案内も含めて、４４件、参加者５７７名の方々に高槻市内の観光ガイドを行いました。また、ハイキングボランティアガイド事業は、１件４２人のガイド依頼を受け、高槻市の豊かな自然に触れ、安全な山歩きのガイドを行いました。

⑥　阪急高槻市駅構内ミング阪急高槻内での観光協会事務所とＪＲ高槻駅観光案内所での観光案内業務

阪急高槻市駅構内における高槻市観光情報コーナーの一画を占めるミング阪急高槻内事務所において、市内外に観光情報を発信する拠点として、観光案内業務を行っています。（観光案内業務は、年末年始を除く月曜日から土曜日の午前９時から午後５時まで。）

また、ＪＲ高槻駅構内観光案内所については、観光案内及び交通・宿泊・催し等の案内、市内観光資料の配布、イベント情報の提供など窓口相談対応に努めました。（毎週月曜日と年末年始を除く、午前１０時から午後５時まで。ただし、平成３０年９月３０日までは、午後６時まで開所。）

○平成３０年度案内業務件数

＊ＪＲ高槻駅観光案内所（案内件数：１６，７７０件）

Ⓐ観光案内　３，７３４件　電話対応５５件

Ⓑ交通案内　４，０４５件　電話対応４８件

Ⓒ宿泊案内　　３１３件　電話対応２１件
Ⓓ催し案内　　２，５６７件　電話対応７０件
Ⓔ暮らし案内（主に病院など生活関連施設案内）
　　４，４９７件　電話対応１４件
Ⓕその他（コインロッカー場所の問合せなどⒶ～Ⓔに入らないもの）
　　１，４３６件　電話対応２５件
Ⓖ外国人案内対応（案内内容：観光、催し、交通等）１７８件

＊ミング阪急高槻内観光協会事務所（案内件数：３，７５３件）

Ⓐ観光案内（情報コーナー展示にかかる問合せを含む）
　　１，２８２件　電話対応　１件
Ⓑ交通案内　　６９７件　電話対応　３件
Ⓒ宿泊案内　　２４件　電話対応　３件
Ⓓ催し案内　　２６５件　電話対応７２件
Ⓔ暮らし案内（主に病院など生活関連施設案内）
　　１，１９１件　電話対応　６件
Ⓕその他（コインロッカー場所の問合せなどⒶ～Ⓔに入らないもの）
　　２９４件　電話対応　３３件
Ⓖ外国人案内対応（案内内容：観光、催し、交通等）　　０件

（３）収益事業（観光案内所運営事業と駐車場運営）

①　観光案内所事業では、案内所の運営に資するため、ミング阪急高槻内事務所において、高槻市交通部からの定期券等の委託販売などを行い、ＪＲ高槻駅観光案内所においては、市営バス回数券の委託販売（９月末日で終了）を行うとともに、はにたんグッズ、チケット等の販売を行いました。

＊ミング阪急高槻内事務所
・定期券販売実績（４月１日以降の販売枚数）　１，９５６件
・市バス回数券（４月１日～９月末日までの販売枚数）　１，４７２冊
・IC カード（１０月以降の販売枚数）　４４５枚
・ハイキングマップ等出版物の販売　４９冊
・はにたんグッズ等販売数量　１０６品目

＊ＪＲ高槻駅構内観光案内所
・市バス回数券（９月末日で終了）　１７，４２５枚
・IC カード（１０月以降３月３１日まで）　９３６枚
・ハイキングマップ等出版物の販売　２２９冊
・はにたんグッズ等販売数量　２７２品目

②　駐車場事業については、摂津峡公園等に係る駐車場（下の口駐車場）について有料駐車場として経営し、観光事業全般にわたる運営経費に収益として充当しました。また、上の口駐車場については、前年度に引き続き芥川漁業協同組合に管理運営委託をお願いしました。